

令和2年度 入学試験問題 総合問題・解答例

以下に示す解答例は一例です。

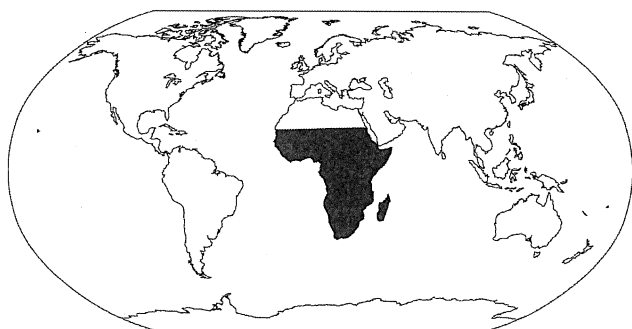
問題1 (100点)

問1 (15点×2)

(イ) 都市部に多くの高齢者が住んでおり、高齢者は高温に弱いので、高温によって病気になったり死亡したりする人が多い。

(ウ) 水分補給の環境やエアコンが整っていないため、高温により身体が機能しなくなり、生産性が低下する。

問2 (10点)



問3 (10点)

ヒートアイランド現象 (ヒートアイランド、都市温暖化、都市温暖化現象、都市高温化、都市高温化現象、も可)

問4 (15点)

a 30 b 22.1

問5 (15点)

2.05

問6 (10点×2)

⑥と⑦

問題 2 (100 点)

問 1 (10 点)

柳田國男 (國は国も可)

問 2 (10 点)

③

問 3 (15 点)

瘤はお爺さんにとって価値のあるものであり、再び舞いに来てでも取り戻したいと望むものである。(45 文字)

問 4 (5 点×2)

「鬼と妖精といった人以外の存在が登場する」「嫉妬を戒める内容である」「瘤のある二人の人物が登場する」「他人の真似をして瘤を取ってもらおうとした人物が後半で失敗する」「超自然的な存在の前であるパフォーマンスを行なう」「行なったパフォーマンスへの評価に応じて、瘤を取られたり付けられたりする」など、類似点を 2 つ。

問 5 (10 点)

ユーラシア

問 6 (計 45 点)

(1) (30 点)

南方の同時代の学者たちは、国際的な比較への関心が薄く、国際的比較を重視する場合でも、大きな関心は日本という国や民族に認められる固有性や特殊性の抽出に向けられていた。南方の説話研究の特徴は、異なる地域、民族、文化間に認められる説話や習俗、信仰の類似性に鋭く着眼し、その諸相を追究したところにあり、このような研究は現代に至るまで、発展してきていない。(173 文字)

(2) (15 点)

人間の心の在り方の類似性・相似性の問題や、人類にとって説話にはどのような意義や価値があるのかといった、説話を巡る本質的な問題を提起するものである点。(74 文字)